

第 1 回 草津市緑の基本計画策定委員会

日時：平成 29 年 8 月 30 日（水）15 時～17 時 10 分

場所：草津市役所 5 階 502 会議室

1 開会

- ・ 委員数 10 名のうち 9 名の出席により、会議の成立を確認
- ・ 会議の傍聴者は 1 名
- ・ 副市長あいさつ

2 委員の委嘱および委員の紹介

3 委員長・副委員長の選任、職務代理者の指名について

- ・ 事務局推薦を求める声あり。
- ・ 事務局より委員長に仲上健一委員、副委員長に小林達男委員を推薦。
- ・ 異議なく承認された。
- ・ 職務代理者の指名について、附属機関運営規則第 4 条第 6 項に則り、委員長より高橋委員を職務代理者に指名。

4 諮問について

草津市長から草津市緑の基本計画策定委員会に第 2 次草津市緑の基本計画の見直しについて諮問 市長代理副市長から

5 議事

(1) 第 2 次草津市緑の基本計画の策定について

- ・ 事務局より資料 4、5 に基づき説明
- ・ 先進事例紹介：静岡県三島市の取り組み

○A 委員

草津には時々立ち寄っているが、河川跡地の変化に驚いている。

緑に関しては、20 年近く前にアメリカに留学した際、大学院のプロジェクトで「Horticultural Therapy（園芸療法）」について調べていた。シカゴのシカゴ植物園で園芸療法をしており、身体障害者などが実際に機能回復の活動として園芸活動などを行っているのを見に行ったことがある。

「健幸」という言葉は草津で初めて目にしたが、私としては「健幸都市」に非常に大きな可能性を感じている。緑というと「あったらいいね」という話になりがちだが、「健幸」ということで、高齢社会などにも結びつけると面白いのではないかな。

○B 委員

南草津駅前の農業用水のポンプ室周りに花壇があり、あまり良い状況ではなかったが、設計事務所を入れて整備をし、現在は良い雰囲気のナチュラルガーデンとなっている。

三島市の活動を見ていると、公共花壇、地域花壇、企業花壇ということで多様なグループ

が集まらないと、「ガーデンシティくさつ」にはほど遠いのではないかと思う。地域の活動と手を携えて、われわれも今後とも活動していきたい。

○C委員

長年この草津に住んでいるが、すごく変わったと感じている。最初は何もなかった草津市が、今ではすごく良くなり、都会にもない、田舎にもないまちづくりができていると思う。そのような癒しのあるまちが大好きなので、そういうまちにしていきたい。

○D委員

10年以上経つと駅ができるということで転入してきたが、当時は緑が豊かですごく良かった。開発が進み、50年以上前からあった木も順番に伐られて悲しかった。昔のままの木を残して、上手に囲んで緑地化するなど、これから先の計画で大事にしてもらいたい。

草津川跡地公園という素敵な公園を作っていただき、草津市民として誇りに思っている。ただ、急に雨が降った時に雨宿りする場所や、暑い季節に陰になる場所がないといった声を聞いている。

○E委員

25年前、草津駅西口の道路に雑草が生い茂っていた。環境の健康も必要だと、雑草を抜き、道路の清掃から始め、花を置いていこうという活動を始めた。そうした中で、総合病院の前に50鉢ガーデニングをさせていただくことになった。市内にこのような活動をしている方はたくさんいる。単独ではなく、力を合わせることで大きなこともできるのではないかな。

○F委員

新草津川の河川敷の557本のサクラにも注目していただきたい。「桜557(いいな)フェスタ」というイベントを、各種団体と協力して、毎年実施しており、7年ぐらいになる。

市から委託されて河川の草刈りや管理を行っているが、県が管理している部分では草が生い茂っている。県への要望については、この緑の基本計画の改定に入れていただきたい。

○G委員

中心市街地活性化協議会という団体があり、草津駅の西側、東側、商店街の一带を中心市街地として、このエリアの活性化事業を行う中で、フラワーポットを置こうという取り組みを進めている。

エスタピアホテルの最上階から市内を上から眺めると、草津川跡地公園を中心に草津には緑があると感じた。ほぼほぼ田舎、ほぼほぼ都会という草津のビジュアルを見て、改めて緑を育てていかなければと感じた。

○副委員長

草津には14学区があり、それぞれにまちづくり協議会があって、各団体が各地域でまちづくりを進めている。中心市街地活性化は東海道と中山道を中心にガーデニングされているが、その枝の方では約250名のボランティアがパンジーやベゴニアを750株ぐらい植えている。悲しいことに、植えた後の2週間ぐらいに必ず20鉢ぐらい盗られる。

駅前のサンサン通りは日本観光振興協会関西支部、また更生保護女性会のおかげできれい

に清掃されている。

○委員長

三島市の事例について、また調査に行かれた際はさらに深いご報告をお願いしたい。また、例えば吹田市ではレモンを街中に植えてかなり有名になっている。そういった、他に知りたい事例などあれば仰っていただきたい。

(2) 現在までの進捗状況について

——（事務局より資料6に基づき説明）——

○F委員

各種団体が緑や環境保全のために取り組んでいる内容が、市民や他の団体にまったく知られていないのではないかと。それをもっと浸透させる方法を計画に入れた方がよいのではないかと。

○E委員

イベント等で「草津ほほえみの会」を知っていただくために、黄色いユニホームを作ってイベント時に着ている。また、みちサポーターにも入るなどの活動から5つの課に関わっているため、「ほほえみの会」という団体の名前は出るようにはなってきた。

今までは地道な活動でよかったが、時代に応じて、もう少しみんなの目に行き届いた方が、市をよくすることにつながると考えている。

○B委員

県のエリアの部分で草が生い茂っているというのは、草津川跡地にもある。また、ココリバの部分には草津まちづくり株式会社のエリアである。植栽活動を行っている事務所棟の前は草津川跡地公園パートナーズという委託を受けている会社の管轄であり、その区間をつないでいる一部は道路課などが入っているため、手付かずで草が生い茂っている。統括グループのもう一つ上の組織体が必要ではないかと考えている。

各団体がさまざまな活動が見えていないということだが、グループを総括するような組織体が必要な気がする。

管理活動費を公園緑地課からもらっているが、草津川跡地は草津川跡地整備課の管轄で、委託費を草津川跡地で使えない。

みずの森について、清掃員は指定管理会社となっているが、シーズンごとに植物を入れ替えている。そこで出てきた宿根草などは、跡地の土手の草が生い茂っている部分に植えたらよいと思うが、行政の管轄でスムーズに思うようなことができない。統括・即断できる組織体がいるのではないかと。

○委員長

数値目標は達しており、それぞれの連携で頑張っているが、行政の壁を感じるというご意見が出ています。もう少し連携を強めるためにはどうすればいいのか、何か考えがあれば事務局より発言をお願いしたい。

○事務局

公園緑地課や草津川跡地整備課、道路課は、同じ部局であり、さらなる連携を図って参ります。

○委員長

行政の方でも連携へ配慮されるだけでも大きな動きが出てくると思うので、ご検討をお願いしたい。

それぞれ独自に頑張っておられても、もう少し皆さんに知ってもらおうと同時に、連携もあれば、よりよくなるのではないかと思うので、この議論は深めていきたい。

(3)「第2次草津市緑の基本計画(改定版)」の構成案

- ・「ガーデンシティくさつ」の考え方
- ・市民ワークショップについて
——(事務局より資料7、8に基づき説明)——
——(A委員より、緑と健康に関して資料提供、説明)——

○A委員

直感的に緑の都市の方が健康にいいとわかると思うが、科学的にかなりの支持がある。何となくわかっているのではなく、科学的調査から実感する機会を作って、効果を市民に訴えていくことによって、もっと効果が大きくなるのではないか。

○委員長

理論的な背景と実際のデータでガーデンシティを位置づけて、日本の先進地域が草津ということになれば、非常に注目を浴びるのではないか。

6 その他

——(事務局より資料9に基づき説明)——

○副委員長

4月から公民館がなくなり、まちづくりセンターとなった。それに併せて、まちづくり協議会がその運営の委託を受けた。市の行政ではなく、地域の仕事ばかりをやる場所なので、まちづくり協議会を存分に使っていただきたい。

7 閉会

- ・次回会議を10月24日午後1時開会で予定する。

(以上)